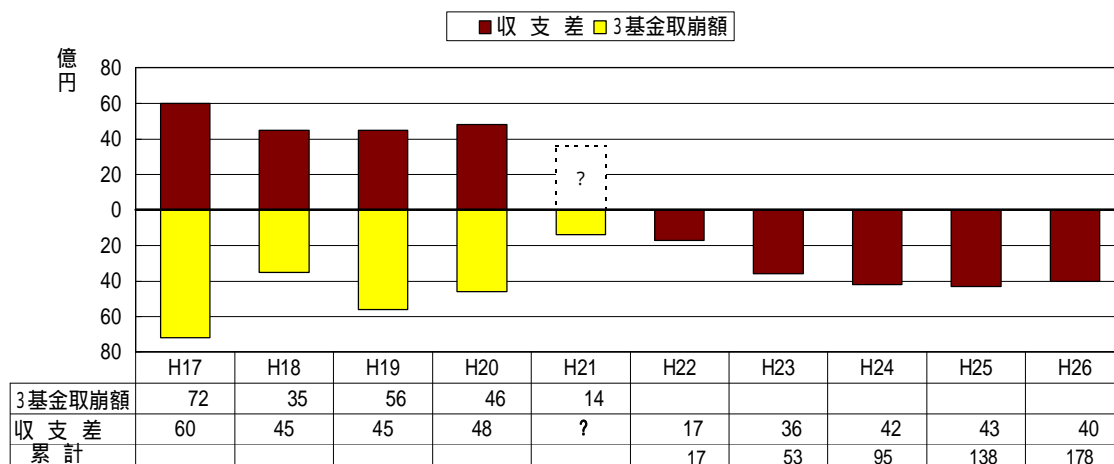


4 今後の収支見通し

(1) 5年間の収支見込み

【収支は5年間で178億円の不足】

- ・平成22年度の決算見込み等を元に今後5年間（平成22～26年度）の市の財政の見通しを試算しました。
- ・試算にあたっては、大規模事業等の重点化、進捗調整等をしないで集計し、また、財源調整のための基金を取崩さないとして見込んだものです。
- ・これによる今後5年間の収支不足は、178億円になると見込んでいます。



過去の「岡山市の財政状況」における収支差の経過

(単位：億円)

年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	合計
第8版(H18)	45	59	51	52	30					237
第9版(H19)		59	72	49	33	18				231
第10版(H20)			40	30	43	50	47			210
第11版(H21)				20	28	36	50	54		188

歳入					2,465	2,624	2,646	2,680	2,701	
歳出					2,482	2,660	2,688	2,723	2,741	
収支差(H22)					17	36	42	43	40	178

今回の収支見通しは、昨年度作成した5年間の見通しに比べて、

- ・歳入では、平成26年度までで税収、地方交付税は微増、また、子ども手当の実施等により国庫支出金の増等を見込んでいます。
- ・歳出では、同じく平成26年度までに、子ども手当の実施や少子高齢化の進展等の影響により扶助費が増となる一方、岡山駅交通結節点等の大規模事業の終了による普通建設事業費の減や市債発行の抑制による公債費の減等を見込んでいます。

【収支不足解消にむけて】

- ・今後5年間の収支不足の178億円については、今後も徹底した行財政改革に取り組んでいくことや、財源調整のための基金により収支を均衡させる必要があります。

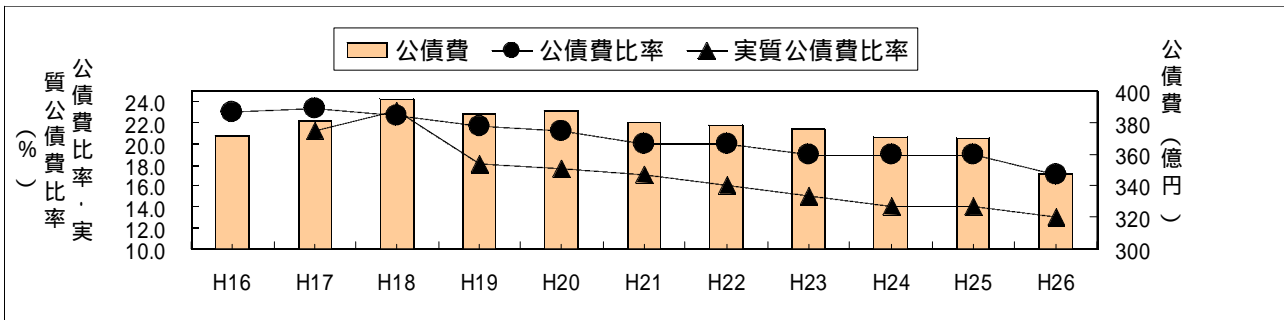
(注)この試算では、現行制度をもとに推計しているため、今後の動向によって、歳入・歳出が変更となる可能性があります。

(2) 今後の財政指標は行革努力を継続すれば改善傾向へ向かうものの、依然高水準

今後5年間の収支見通しと合わせて財政指標を推計すると、公債費比率は平成17年度をピークに改善傾向にあると見込んでいます。

また、実質公債費比率も改善傾向にあると見込んでいますが、依然高い(悪い)水準にあるため、今後も通常債の発行を一定程度に抑制することが必要です。

公債費、公債費比率、実質公債費比率の見込



	H16	H17	H18	H19	H20	H21見込	H22見込	H23見込	H24見込	H25見込	H26見込
公債費	372	381	395	386	387	380	378	376	371	370	348
公債費比率	23.0	23.3	22.7	21.6	21.2	20.0	20.0	19.0	19.0	19.0	17.0
実質公債費比率		21.2	23.1	18.1	17.6	17.0	16.0	15.0	14.0	14.0	13.0

【公債費は高水準で推移】

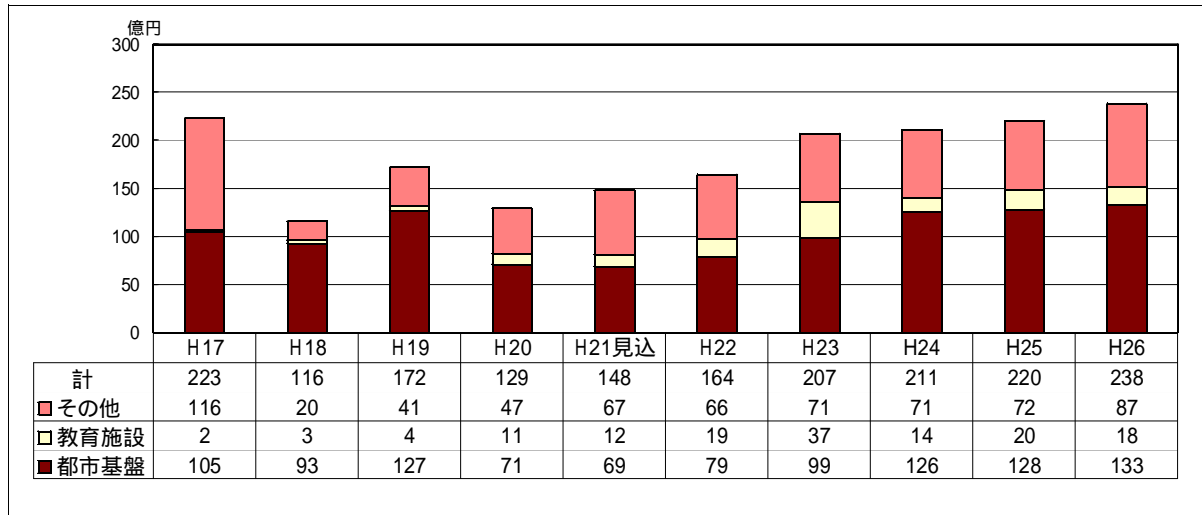
- ・公債費は増加を続けてきましたが、市債残高が総額、通常分ともに減少しており、平成18年度の395億円がピークになると推計しています。
- ・しかし、平成16年度と平成18年度の合併による市域の拡大や、政令指定都市移行に伴う国県道整備の増加、市民の安全・安心を守る消防施設整備事業の推進等の影響もあって、今後もなお高水準で推移すると見込んでいます。

【公債費比率、実質公債費比率は改善傾向】

- ・公債費比率は、平成17年度の23.3%をピークに改善傾向にあります。
- ・また、実質公債費比率は、平成20年度決算では17.6%となり、起債許可団体から協議団体となりました。
- ・今後も公債費の抑制のため、建設事業の重点化や進捗調整等を図る必要があります。

(3) 今後の大規模事業について

現在、岡山市では政令指定都市移行したことに伴う国県道に係る道路新設改良事業や市民の安全・安心を守る消防署施設や通信設備整備等、大規模事業を実施しており、今後も合併に伴う新市建設計画事業、新市基本計画事業等を含め、市政発展のため着実に事業を実施する必要があります。



- ・このたびの収支改定に当って、今後5年間(平成22～26年度)に予測される概ね10億円以上の大規模事業費を合計すると1,040億円となります。
- ・一方で、平成22～26年度においては財源不足が見込まれており、事業実施のためには、財源や財政バランスを考慮しつつ、事業の選択と集中や平準化、延伸などの進捗調整を行うことが必要と考えています。

主な大規模事業

都市基盤	道路整備事業(下中野平井線(旭川工区)、竹田升田線、岡山吉井線、藤田浦安南町線、西大寺山陽線 他)、灘崎町総合公園整備事業、広域河川改修事業(倉安川、永江川) 等
教育施設	岡山後楽館中・高等学校施設整備事業、大廻小廻山城跡整備事業 等
その他	消防署・出張所の適正配置、消防デジタル無線・指令システム更新・土地改良事業交付金 等